

令和7年度

土木施設災害復旧事業

福富地区災害復旧工事(7-2)

仕様書

施 工 場 所 東広島市福富町久芳

令和7年度 土木施設災害復旧事業
福富地区災害復旧工事(7-2)

【 位置図 】



【 詳細図 】



特記仕様書

令和7年度 土木施設災害復旧事業 福富地区災害復旧工事（7-2）

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法
10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法
11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
12. 法定外の労災保険の付保
13. 週休2日適用工事等
14. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 工事着手予定日
2. 用地
 - (1) 現場の復旧
3. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
4. 工事用道路
 - (1) 仮設道路
5. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
6. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
 - (2) アスファルト殻(搬出)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工
5. すりつけ工
6. 暗渠排水の有無（農地）
7. 工事の確認（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3. 適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費

（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- (2) 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
- 1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合
【土木施設災害復旧事業：12.82%】
 - 2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合
【土木施設災害復旧事業：1.52%】
- (3) 受注者は、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。なお、実施計画書には根拠となる資料を添付すること。
- (4) 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については設計変更の対象としない。
- (6) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準書・土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- (7) 受注者から提出された資料に疑義の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

10. 遠隔地からの建設資材を調達する場合の積算方法

建設資材及び仮設材については、調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達をせざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票の写し等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

「調達地域等」とは、建設資材にあつては、広島県土木工事設計資材単価表及び広島県農林土木用資材単価表で示す地区、又は地区の指定がない場合は広島県内を言い、仮設材にあつては、土木工事標準積算基準書（広島県）第X編 参考資料 第2章 工事費の積算 1)間接工事費 1)-1共通仮設費 1 運搬費

(4) リース器材 の運搬で示す仮設材が所在すると推定される場所又は大手リース業者基地等をいう。

11. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

12. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

13. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

14. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
	コンクリートブロック	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 工事着手予定日

工事着手予定日は、稲刈後とする。(9月末予定)

2. 用地

(1) 現場の復旧

工事用道路として使用した土地は、確実に原形に復旧すること。

農地を利用した場合は、地権者と復旧後の状態について確実に同意を得た上で引渡の処理を行う事。

3. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

4. 工事用道路

(1) 仮設道路

安全施設 出入口に柵を設置すること。

工事後の処置 原形復旧

5. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 20m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

6. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称) 有限会社広剛産業福富残土処分場1

(所在地) 東広島市福富町上戸野大井出1460-1

(運搬距離) 2.9 km

(2) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 2.6 km を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. すりつけ工

すりつけ工は現地との整合を確認し、施工方法及び数量を事前に監督職員と協議すること。

6. 暗渠排水の有無（農地）

現場作業着手前に、当該農地の既設暗渠排水の有無を確認すること。既設暗渠排水がある場合は、位置及び現在の排水機能について地権者等による立会確認を行うこと。

7. 工事の確認（農地）

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	砂質土	m3		30	レベル4
路体盛土工		式		1	レベル3
路体(築堤)盛土		m3		9	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(切土部)	砂質土	式		1	レベル4
法面整形(切土部)	ブロック背面部 砂質土	m2		20	レベル4
法面整形(盛土部)		m2		20	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	砂質土	m3		20	レベル4
残土等処分	砂質土	m3		20	レベル4
法面工		式		1	レベル2
植生工		式		1	レベル3
人工張芝	ワラ芝	m2		50	レベル4
石・ブロック積(張)工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	砂質土	式		1	レベル4
埋戻し	砂質土	式		1	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式		1	レベル3
コンクリートブロック積	滑面ブロック $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m2		36	レベル4
胴込・裏込材(砕石)	RC-40	m3		13	レベル4
天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m		10	レベル4
調整コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m		10	レベル4
基礎工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m		10	レベル4
1号小口止工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ H=3500	箇所		1	レベル4
2号小口止工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ H=4000	箇所		1	レベル4
取付工		式		1	レベル3
取付工	植生土のう 小口並べ	m2		6	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
路盤(車道・路肩部)	t = 100	m2		5	レベル4
表層(車道・路肩部)	t = 50	m2		5	レベル4
張コンクリート		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0003

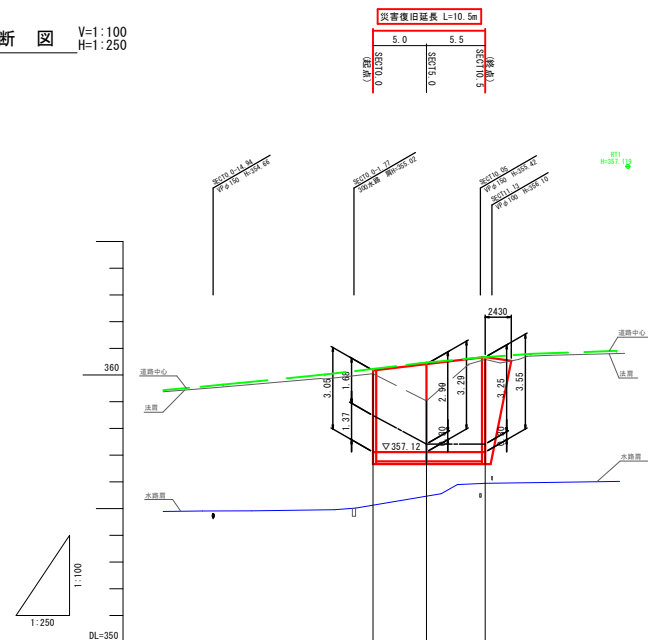
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
張コンクリート		式		1	レベル3
張コンクリート	t = 7cm $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m2		14	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 , t = 5cm	式		1	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版 , t = 5cm	m2		4	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	AS殻	m3		0.2	レベル4
殻処分	AS殻	t		0.4	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
工事用道路		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		33	レベル4
共通仮設費率分					

工事数量総括表

頁0 -0004

[illegible]

縦断図 V=1:100
H=1:250



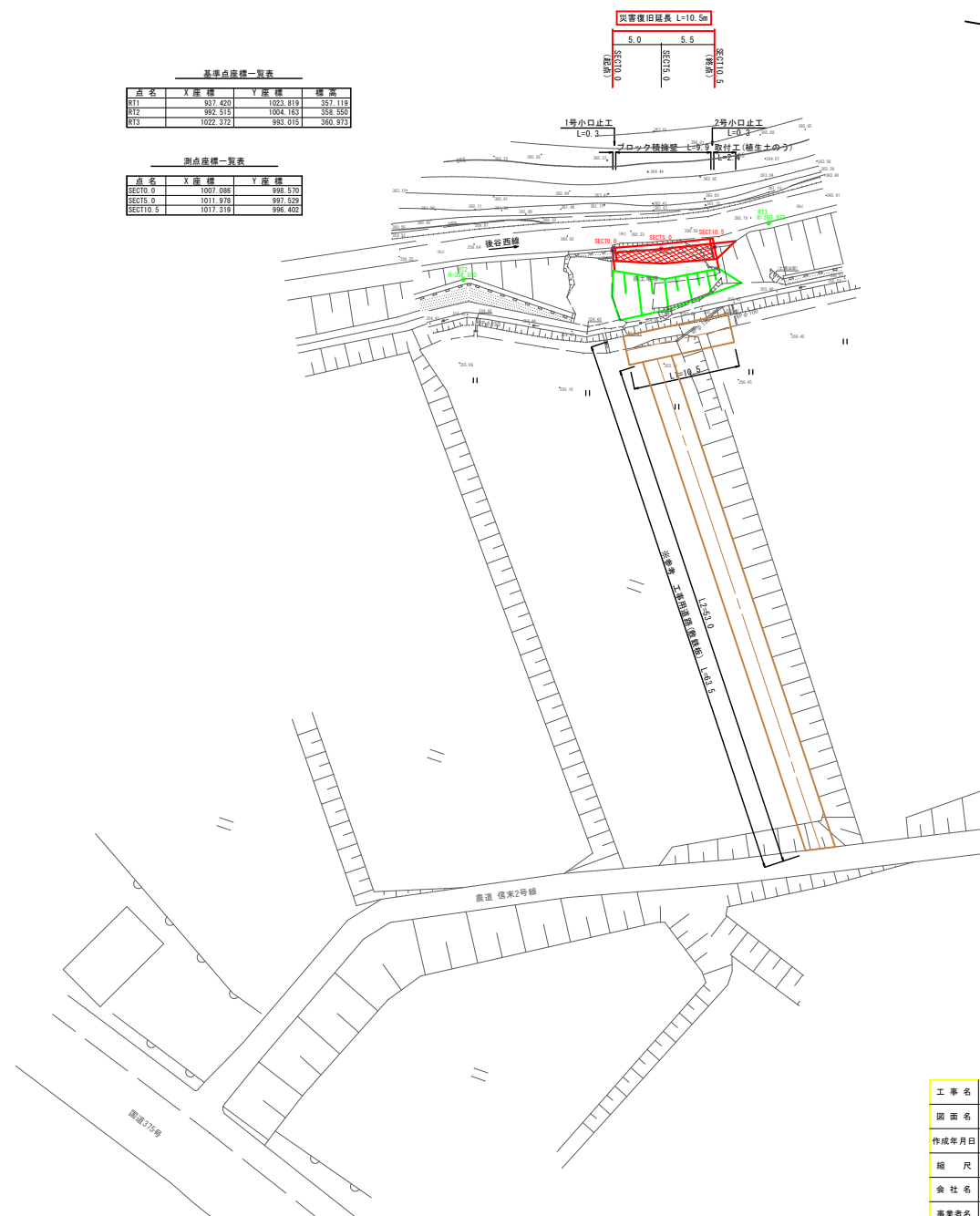
勾	配				
盛	土				
切	土				
計	面 高				
地	盤 高		340.05	339.52	340.05
追	加 距 離		0.005	5.005	10.000
区	間 距 離		0.005	5.005	5.000
測	点		55570.0	55570.0	555710.0

平面图 S=1:250

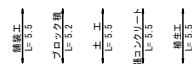


点名	X座標	Y座標	標高
RT1	937.420	1023.819	357.119
RT2	992.515	1004.163	358.550
RT3	1022.372	993.015	360.973

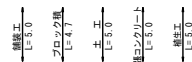
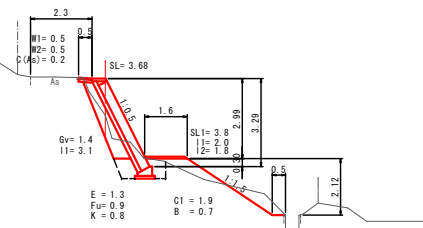
点名	X座標	Y座標
SECT0.0	1007.086	998.570
SECT5.0	1011.978	997.529
SECT10.5	1017.319	996.402



工 事 名	後谷西線		
図 面 名	計 画 図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 3
会 社 名			
事業者名	東 広 島 市		

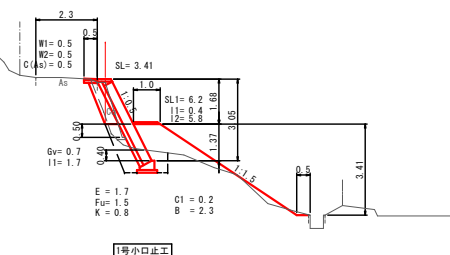


D= 5.500
SECT5.0
GR=355.02
PR:



DL-350

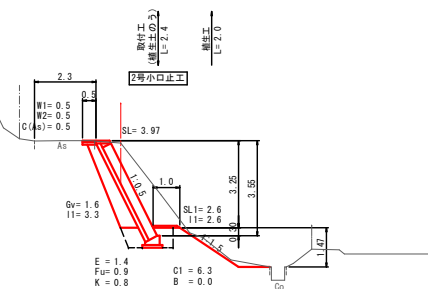
D= 5.000
SECT0.0
GR=360.05
PR:



1号小口止工

DL-350

D= 5.000
SECT10.5
GR=360.58
PR:



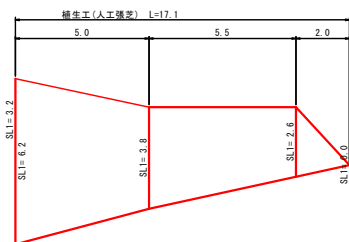
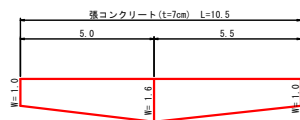
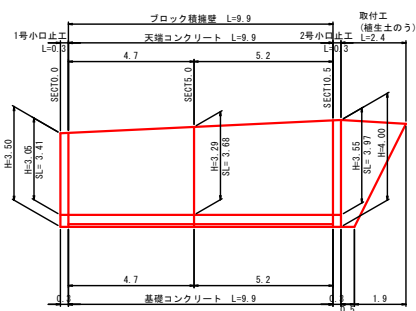
2号小口止工

DL-350



工事番号 48

工事名	後谷西線		
図面名	計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 3
会社名			
事業者名	東広島市		



材料表		1箇所あたり
種 別	算 式	数 量
側 面 積	$(0.509 + 0.584) / 2 \times 0.150$ $+ (0.909 + 1.199) / 2 \times 2.900$ $+ (1.299 + 1.119) / 2 \times 0.450$	3.683 m ²
コンクリート	3.683×0.300	1.105 m ³
型 枠	$3.683 \times 1 + (3.410 + 0.450) \times 0.300$	4.841 m ²

Diagram of a channel section with width $W=3.00$ and thickness $t=22\text{mm}$. The section is labeled "敷鉄板" (Fuketepu).

種 別	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.534
型 枠	一般型枠	m2	2.118

断面図 再生アスファルト舗装の構造

プライムコート
(アスファルト乳剤 PK-3)

再生密粒度アスコン (20)

再生切込砕石 (RC-30)

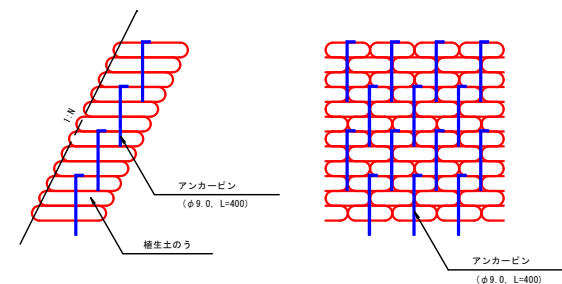
100

種 別	規 格	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.306

コンクリート ($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$)

種 別	規 格	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.363
型 枠	一般型枠	m ²	4.500
基礎砕石	RC-40, t=100mm	m ²	7.500

(植生土のう)



材料表 (1.0m2当たり)			
種 別	規 格	単 位	数 量
植生土の土	小口並べ	枚	17.0
中 詰 土	現地発生土	m3	0.34
アンカーピン	φ 9.0mm, L=400	本	10.0

工 事 名	後谷西線		
図 面 名	計 画 図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 3
会 社 名			
事業者名	東 広 島 市		

参 考 図 書

工事名称：令和7年度 土木施設災害復旧事業 福富地区災害復旧工事(7-2)

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。
- 3 その他
 - ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	(有) 広剛産業福富残土処分場 1	東広島市福富町上戸野大井出 1460-1	2.9km
AS 殻	光陽産業(株)豊栄工場	東広島市豊栄町乃美 1882-1	2.6km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 46 東広島市(福富) 00-07.06.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	04 道路改良工事		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	09 閉所型・月単位		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 砂質土					Y1E01010101 レベル4
	30	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					SPK24040001 00
	30	m3			単第0 -0001 表
路体盛土工					Y1E010103 レベル3
	1	式			
路体(築堤)盛土					Y1E01010301 レベル4
	9	m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満					SPK24040004 00
	9	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面整形工					Y1E010107 レベル3
	1	式			
法面整形(切土部) 砂質土 ブロック背面部					Y1E01010701 レベル4
	30	m2			
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					SPK24040025 00
	30	m2			単第0 -0003 表
法面整形(切土部) 砂質土					Y1E01010701 レベル4
	20	m2			
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					SPK24040025 00
	20	m2			単第0 -0003 表
法面整形(盛土部)					Y1E01010702 レベル4
	20	m2			
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					SPK24040025 00
	20	m2			単第0 -0004 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 砂質土					Y1E01011002 レベル4
	20	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.5km超)	20	m3			SPK24040002 00 単第0 -0005 表
残土等処分 砂質土	20	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分	20	m3			F0000000001 00
法面工	1	式			Y1E0104 レベル2
植生工	1	式			Y1E010401 レベル3
人工張芝 ワラ芝	50	m2			Y1E01040111レベル4
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	50	m2			SPK24040033 00 単第0 -0006 表
石・ブロック積(張)工	1	式			Y1E0107 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
作業土工					Y1E010701 レベル3
	1	式			
床掘り 砂質土					Y1E01070102レベル4
	10	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040015 00
	10	m3			単第0 -0007 表
埋戻し 砂質土					Y1E01070103レベル4
	10	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040020 00
	10	m3			単第0 -0008 表
Coブロック工(Coブロック積)					Y1E010703 レベル3
	1	式			
コンクリートブロック積 滑面ブロック σ ck=18N/mm2					Y1E01070305レベル4
	36	m2			
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB					SDT00039 00
	36	m2			単第0 -0009 表
胴込・裏込材(碎石) RC-40					Y1E01070308レベル4
	13	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	13	m3			SPK24040045 00 単第0 -0010 表
天端コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	10	m			Y4999 レベル4
天端コンクリート	10	m			V000000005 00 単第0 -0011 表
調整コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	10	m			Y4999 レベル4
調整コンクリート	10	m			V000000004 00 単第0 -0013 表
基礎工 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	10	m			Y4999 レベル4
現場打ち基礎工 18-8-40BB	10	m			V000000007 00 単第0 -0015 表
1号小口止工 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ H=3500	1	箇所			Y4999 レベル4
1号小口止工 18-8-40BB	1	箇所			V000000001 00 単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
2号小口止工 σ ck=18N/mm2 H=4000	1	箇所			Y4999 レベル4
2号小口止工 18-8-40BB	1	箇所			V000000002 00 単第0 -0019 表
取付工	1	式			Y3999 レベル3
取付工 植生土のう 小口並べ	6	m2			Y4999 レベル4
植生土のう 小口並べ	6	m2			V000000003 00 単第0 -0021 表
舗装工	1	式			Y1E0204 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3
路盤(車道・路肩部) t = 100	5	m2			Y1E02040403 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	5	m2			SPK24040232 00 単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) t = 50	5	m2			Y1E02040409 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	5	m2			SPK24040241 00 単第0 -0025 表
張コンクリート	1	式			Y2999 レベル2
張コンクリート	1	式			Y3999 レベル3
張コンクリート t = 7cm σ ck=18N/mm2	14	m2			Y4999 レベル4
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ70mm 18-8-20BB	14	m2			S1040011 00 単第0 -0026 表
養生工 防草コンクリート	14	m2			S1040013 00 単第0 -0028 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版, t = 5cm	11	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	11	m			SPK24040306 00 単第0 -0029 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版, t = 5cm	4	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	4	m2			SPK24040018 00 単第0 -0030 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 AS殻	0.2	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 D1D区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	0.2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0031 表
殻処分 AS殻	0.4	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
AS殻					F000000002 00
	0.4	t			
仮設工					Y1E0115 レベル2
	1	式			
工事用道路工					Y1E011501 レベル3
	1	式			
工事用道路					Y1E01150104レベル4
	191	m2			
敷鉄板設置					S1050041 00
	191	m2			単第0 -0032 表
敷鉄板撤去					S1050043 00
	191	m2			単第0 -0034 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間21日					S1050029 00
	42	枚			単第0 -0035 表
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
	33	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 1.3km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0036 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

頁0 -0013

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 標準以外
SPK24040001
材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0001 表
1
標準単価: 2,592.50000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=8 土砂 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK24040004

単第0 -0002 表

1
標準単価: m3 当り
6,330.20000

0.70% 労務構成比: 99.06% 材料構成比: 0.24% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.70%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.24%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

頁0 -0015

法面整形
切土部 現場制約無し
機械構成比: 9.71% 労務構成比: 80.61% 材料構成比: 9.68% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 874.32000

SPK24040025
レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

単第0 -0003 表
1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	9.71%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	19.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

法面整形

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

機械構成比: 12.42%

SPK24040025

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

労務構成比: 75.20%

材料構成比: 12.38%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0004 表

1

標準単価:

m2

当り

433.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	12.42%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0017

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040002
DID区間無し 距離3.0km以下(2.5km超)

単第0 -0005 表
1
標準単価: 2,477.10000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=15 距離3.0km以下(2.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

人工張芝
張芝 幅100cm ワラ付
機械構成比：0.00%

SPK24040033

単第0 -0006 表

1
標準単価：

m2 当り
715.14000

労務構成比：63.34%

材料構成比：36.66%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	45.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
張芝 幅100cm, ワラ付	36.66%		張芝 幅100cm ワラ付		TTPC00274 TTPT00274
積算単価			積算単価		EP001
A=1 張芝 幅100cm ワラ付					

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 2,170.70000

SPK24040015 単第0 -0007 表

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0020

埋戻し
土砂

SPK24040020
上記以外(小規模)

単第0 -0008 表

1
標準単価:

m3 当り
3,871.10000

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0021

埋戻し

土砂

機械構成比: 9.48%

勞務構成比: 86.47%

上記以外(小規模)

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0008 表

1
標準単価：

m3 当り
3,871.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック

SDT00039

単第0 -0009 表

18-8-40BB

1

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.168	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.168	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.15 裏込コンクリートの厚さ(m) K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし					

施工単価表

頁0 -0023

コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック

SDT00039

單第0 -0009 表

m2 当り

18-8-40BB

[illegible]

施工単価表

胴込・裏込材(碎石)

間知・平・連節・緑化ブロック

機械構成比: 9.68%

SPK24040045

RC-40

労務構成比: 66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1

標準単価:

m3

当り

6,906.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	9.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	34.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm	19.63%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0025

胴込・裏込材(碎石)

SPK24040045

單第0 -0010 表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.68%

勞務構成比：

66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

6,906.50000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

天端コンクリート

V000000005

單第0 -0011 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

現場打天端コンクリート

SPK24040052

単第0 -0012 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.63%

労務構成比: 64.40%

材料構成比: 32.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

60,947.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	2.63%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.70%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	31.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0028

現場打天端コンクリート

SPK24040052

單第0 -0012 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.63%

勞務構成比：

64.40%

材料構成比: 32.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

60,947.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

調整コンクリート

V000000004

單第0 -0013 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート

SPK24040153

单第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比:	3.79%	労務構成比:	35.68%	材料構成比:	60.53%	市場単価構成比:	0.00%
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------

標準単価： 33,754.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

現場打ち基礎工
18-8-40BB

V000000007

單第0 -0015 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

単第0 -0016 表

18-8-40BB

基礎砕石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

労務構成比:

68.05%

材料構成比:

29.71%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

76,045.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	1.58%		バックハウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.66%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	18.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	17.71%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
特殊作業員	10.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	25.18%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0034

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

单第0 -0016 表

18-8-40BB

基礎碎石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.24%

勞務構成比：

68.05%

材料構成比: 29.71%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

76,045.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

1号小口止工
18-8-40BB

V000000001

單第0 -0017 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

現場打小口止コンクリート

SPK24040050

単第0 -0018 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 1.98% 労務構成比: 68.57% 材料構成比: 29.45% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 67,388.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.98%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	22.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	21.22%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	10.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	28.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0037

現場打小口止コンクリート

SPK24040050

單第0 -0018 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比:	1.98%	労務構成比:	68.57%	材料構成比:	29.45%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	67,388.00000
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

2号小口止工
18-8-40BB

V000000002

單第0 -0019 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

現場打小口止コンクリート

SPK24040050

単第0 -0020 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 1.98% 労務構成比: 68.57% 材料構成比: 29.45% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 67,388.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.98%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	22.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	21.22%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	10.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	28.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0040

現場打小口止コンクリート

SPK24040050

單第0 -0020 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 1.98%

勞務構成比：

68.57%

材料構成比: 29.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

67,388.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

植生土のう
小口並べ

V000000003

單第0 -0021 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

植生土のう製作

S0233

單第0 -0022 表

袋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

土のう積立工
小口並べ

S1012

單第0 -0023 表

10

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

下層路盤(車道・路肩部)
全仕上り厚100mm 1層施工
機械構成比: 4.67% 労務構成比: 15.69% 材料構成比: 79.64% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040232

単第0 -0024 表

RC-30

1
標準単価:

m2 当り
1,202.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.48%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 4.67%

労務構成比: 15.69%

材料構成比: 79.64%

市場単価構成比: 0.00%

RC-30

SPK24040232

単第0 -0024 表

1

標準単価:

m2

当り

1,202.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30～0mm	78.02%		クラッシャー 40～0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0046

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0025 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

42.30%

材料構成比:

57.27%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0047

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0025 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2

当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.16%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)			B=50	1層当り平均仕上り厚(mm)		
C=6	再生密粒度アスファルト混合物(20)			E=2	PK-3		
G=2	小型車割増有			H=1	-		
I=1	-(全ての費用)						
【アスファルト混合物単価】							
1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値)							
1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

コンクリート打設工		S1040011		単第0 -0026 表	
防草コンクリート Co厚さ70mm		18-8-20BB		100 m2 当り	
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			
特殊作業員	1.100	人			
普通作業員	1.900	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	8.470	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	8.470	m3			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付1.7t吊_山積0.28m3	0.890	日			単第0-0027 表
諸雑費	4.0	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.0m超2.0m以下 C=1 - F=70 コンクリート厚さ(mm)			B=1 施工高さ -4.5m以上-1.0m未満 D=1 18-8-20BB G=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0049

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付1.7t吊 山積0.28m3

S9035

單第0 -0027 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

養生工
防草コンクリート

S1040013

單第0 -0028 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.42% 労務構成比: 57.13% 材料構成比: 27.45% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040306
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0029 表
1 m 当り
標準単価: 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0052

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0029 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0030 表

1
標準単価：
m2 当り
1,690.80000

機械構成比： 20.80% 労務構成比： 71.28% 材料構成比： 7.92% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0054

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)

単第0 -0031 表
1
標準単価: 3,220.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=13 運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

施工単価表

頁0 -0055

敷鉄板設置

S1050041

單第0 -0032 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0033 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

敷鉄板撤去

S1050043

單第0 -0034 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

敷鉄板賃料

S1050029

單第0 -0035 表

22 × 1524 × 3048,802kg/枚

貸貸期間21日

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0059

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 1.3km	製品長 12m以内

單第0 -0036 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

基本運賃

S1000009

單第0 -0037 表

運搬距離 1.3km

製品長 12m以内 運搬質量 33t

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0061

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0038 表

式 当り

[illegible]

工 事 費 内 訳

48_後谷西線(井上宅西)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数 量	摘 要
本工事費	道路土工							
		掘削工	掘削	砂質土	m3	30	27.9	
		盛土工	盛土	砂質土	m3	9	9.4	
		法面整形工	法面整形(切土部)	機械, 砂質土	m2	30	29.6	(構造物背面部)
			〃	機械, 砂質土	m2	20	21.3	(法面部)
			法面整形(盛土部)	機械, 砂質土	m2	20	24.0	
		残土処理工	残土処理	砂質土	m3	20	20.2	
	法面工							
		植生工	人工張芝		m2	50	45.2	
	法覆護岸工							
		作業土工	床掘	砂質土	m3	10	14.9	
			埋戻	C	m3	10	11.0	
			基面整正	砂質土	m2	8	8.4	
		コンクリート ブロック積工	間知ブロック	控0.35m 裏コン15cm	m2	36	35.5	

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計上数量	数 量	摘 要
			天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 1:0.5	m	10	9.9	V=0.534 (m3/10m)
			調整コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 1:0.5	m	10	9.9	V=0.306 (m3/10m)
			裏込材	RC-40	m3	13	12.7	
			現場打基礎	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ W=550,H=350	m	10	9.9	V=1.363 (m3/10m)
		小口止工	1号小口止工	B300,H=3500	箇所	1	1.0	V=1.105(m3)
			2号小口止工	B300,H=4000	箇所	1	1.0	V=1.295(m3)
		取付工	植生土のう	小口並べ	m2	6	5.8	
	舗装工							
		舗装工	上層路盤	t=10cm	m2	5	5.3	
			表層工	t=5cm	m2	5	5.3	
	張コンクリート工							
		張コンクリート	t=7cm		m2	14	13.7	
	構造物撤去工							
		舗装版切断工	t=5cm	アスファルト	m	11	10.5	
		舗装版破碎工	t=5cm	アスファルト	m2	4	3.7	
		運搬処理	殻運搬	As殻	m3	0.2	0.2	3.7 × 0.05
			処分	As殻	t	0.4	0.4	0.19 × 2.35t/m3

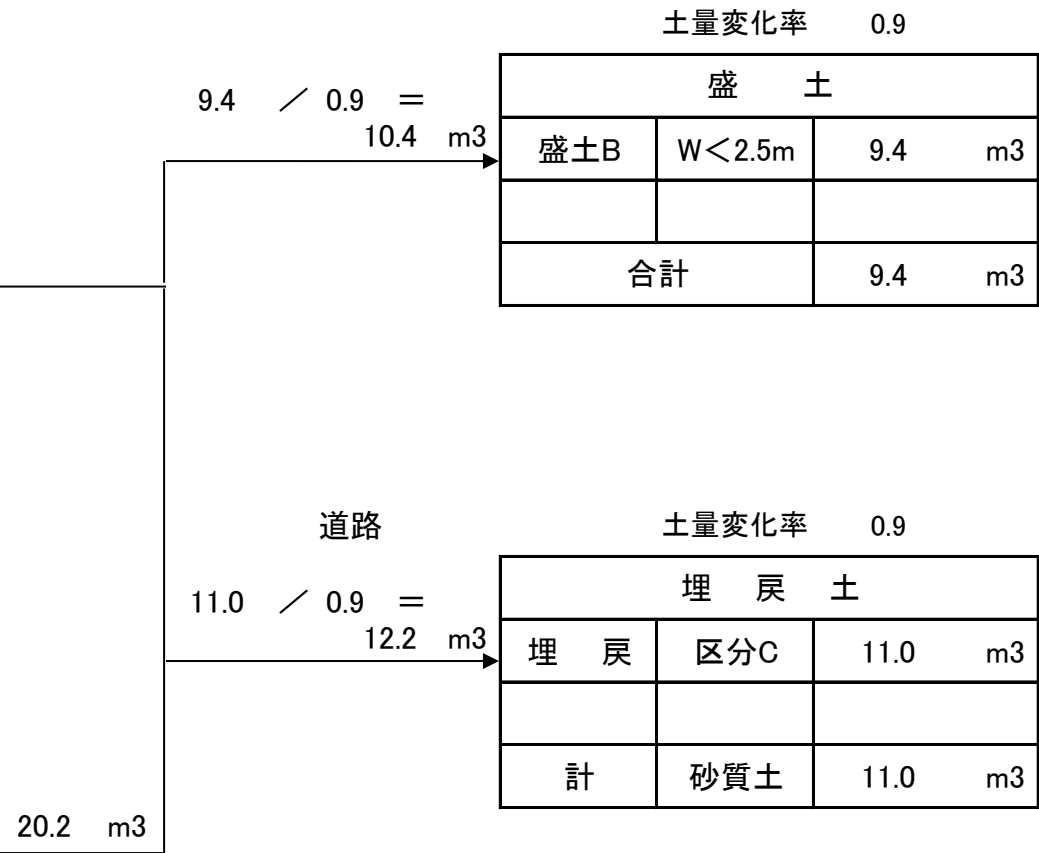
[illegible]

48_後谷西線(井上宅西)

土量配分表

掘削土			
掘削	砂質土	27.9	m3
床掘	//	14.9	m3
計	砂質土	42.8	m3

残土処分			
計	砂質土	20.2	m3



道 路 土 工 計 算 書

測 点	距 離	機械掘削 C1			盛土B			盛土法面整形 I2			切土法面整形 I1			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		0.2			2.3						1.7			(構造物背面部)
SECT, 5.0	5.0	1.9	1.05	5.3	0.7	1.50	7.5				3.1	2.40	12.0	
SECT, 10.5	5.5	6.3	4.10	22.6	0.0	0.35	1.9				3.3	3.20	17.6	
														(法面部)
								5.8			0.4			
SECT, 5.0	5.0							1.8	3.80	19.0	2.0	1.20	6.0	
SECT, 10.5	5.5							0.0	0.90	5.0	2.6	2.30	12.7	
	2.0										0.0	1.30	2.6	
													29.6	(構造物背面部合計)
合 計	23.0			27.9			9.4			24.0			21.3	(法面部合計)

測 点	距 離	床掘E			埋戻Fu(C)			基面整正K						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.7			1.5			0.8						
SECT, 5.0	5.0	1.3	1.50	7.5	0.9	1.20	6.0	0.8	0.80	4.0				
SECT, 10.5	5.5	1.4	1.35	7.4	0.9	0.90	5.0	0.8	0.80	4.4				
合 計	10.5			14.9			11.0			8.4				

48_後谷西線(井上宅西)

護 岸 工 計 算 書

(4 / 12)

測 点	距 離	ブロック法長 (SL)			裏込碎石 (Gv)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		3.41			0.7									
SECT, 5.0	4.7	3.68	3.55	16.7	1.4	1.05	4.9							
SECT, 10.5	5.2	3.97	3.83	19.9	1.6	1.50	7.8							
天端コン控除		(1.118 × 0.100 × 9.9)=		-1.1										
合 計	9.9			35.5			12.7							

48_後谷西線(井上宅西)

天端コンクリート

(5 / 12)

[illegible]

48_後谷西線(井上宅西)

ブロック基礎工

(6 / 12)

[illegible]

48_後谷西線(井上宅西)

小口止工

(7 / 12)

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
1号小口止工	H=3.50	1	1 ヶ所	1.105m3
2号小口止工	H=4.00	1	1 ヶ所	1.295m3
合 計			2 ヶ所	2.400m3

48_後谷西線(井上宅西)

舗 装 工 計 算 書

(9 / 12)

測 点	距 離	上層路盤 (t=10cm)			表層工 (t=5cm)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		0.50			0.50									
SECT, 5.0	5.0	0.50	0.50	2.5	0.50	0.50	2.5							
SECT, 10.5	5.5	0.50	0.50	2.8	0.50	0.50	2.8							
合 計	10.5			5.3			5.3							

48_後谷西線(井上宅西)

構造物取壊工

計 算 書

(11 / 12)

測 点	距 離	舗装版切断工			舗装版破碎工C(As)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0					0.5									
SECT, 5.0	5.0			5.0	0.2	0.35	1.8							
SECT, 10.5	5.5			5.5	0.5	0.35	1.9							
合 計	10.5			m 10.5			m2 3.7							

48_後谷西線(井上宅西)

工事用道路

(12 / 12)

種 別	細 別	計 算 式	数 量	摘 要
工事用道路工	敷鉄板(W=3.0)	10.5 + 53.0	63.5 m	190.5 m2
合 計			63.5 m	

供用日数算出表		工事名			48_後谷西線(井上宅西)				
種 別	規 格	対象施工数量			標準作業量			日 数	備 考
土工	機械掘削(標準)	27.9	m3	÷	15	m3/日	=	1.86	上記以外(小規模)
土工	路体盛土(2.5<W)	9.4	m3	÷	50	m3/日	=	0.19	現場制約無し
土工	切土法面整形	50.9	m2	÷	140	m2/日	=	0.36	現場制約無し
	盛土法面整形	24.0	m2	÷	140	m2/日	=	0.17	現場制約無し
〃	人工張芝	45.2	m2	÷	222	m2/日	=	0.20	
作業土工	機械床堀	14.9	m3	÷	32	m3/日	=	0.47	上記以外(小規模)
	埋戻C	11.0	m3	÷	40	m3/日	=	0.28	上記以外(小規模)
	埋戻D		m3	÷	33	m3/日	=		
	基面整正	8.4	m2	÷	50	m2/日	=	0.17	
現場打基礎コンクリート	基礎砕石有り	1.3	m3	÷	3.5	m3/日	=	0.39	護岸基礎工
型枠(小型)	製作・設置・撤去		m2	÷	15	m2/日	=		護岸基礎工
コンクリート(無筋・小型)	バックホウ打設		m3	÷	8	m3/日	=		中詰・胴込コン
コンクリート(無筋)		0.8	m3	÷	3.5	m3/日	=	0.24	天端コン+調整コン
コンクリート(無筋)		2.0	箇所	÷	1	箇所/日	=	2.00	小口止工
コンクリートブロック	間知ブロック	35.5	m2	÷	13	m2/日	=	2.73	間知ブロック
吸出し防止材		0.0	m2	÷	480	m2/日	=	0.00	
中詰工	栗石		m3	÷	10	m3/日	=		
裏込砕石		12.7	m3	÷	18	m3/日	=	0.71	間知ブロック
練石積工			m2	÷	19	m2/日	=		
練石張工			m2	÷	31	m2/日	=		
取付工	植生土のう	5.8	m3	÷	7.8	m3/日	=	0.70	
コンクリート(無筋・小型)	バックホウ打設		m3	÷	8	m3/日	=		底張工
〃		13.7	m2	÷	15	m2/日	=	0.91	張コンクリート
構造物撤去工	舗装版切断	10.5	m	÷	203	m/日	=	0.05	15cm以下
〃	舗装版破碎	3.7	m2	÷	260	m2/日	=	0.01	〃
表層(再生密粒度As)	t=5cm以下	5.3	m2	÷	250	m2/日	=	0.02	W<1.4m
上層路盤(再生粒度調整砕石)	t=15cmまで	5.3	m2	÷	940	m2/日	=	0.01	
仮設工	敷鉄板(設置)	190.5	m2	÷	656	m2/日	=	0.29	
〃	敷鉄板(撤去)	190.5	m2	÷	701	m2/日	=	0.27	
合計								12.03	
	×1.7						≒	21	日

[illegible]

[illegible]